

甲南Today

甲友のリレーションで、

未来を紡ぐ

No.22
2005 SEP.

甲南Today No.22

2005年9月22日発行

【発行】甲南学園広報部

〒658-8501

神戸市東灘区岡本8丁目9-1

TEL 078-431-4341 (代)



KONAN VISION ● あなたの目で確かめる、甲南の実力

甲南大学はより深く 地域社会と連携できるか。

研究室訪問

社会言語学的方言研究

模範的な日本語もかつて若者ことばから生まれた!?



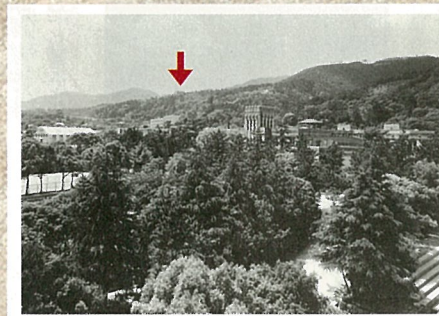
「恩賜の杖」(鳩杖はとづえ)

鳩杖は、辞書によれば「80歳以上の功臣に宮中から下賜された。鳩は食する時にむせない鳥であるとし、これにあやかるため、老人用の杖の握りの部分に鳩の形をつけたもの」とあります。学園の創立者平生鈆三郎先生は、1945年、枢密院顧問官の功績により、この鳩杖を賜りました。現在は1号館1階にある学園史資料展示室で陳列されています(入場自由)。学園の歴史を広く知っていただき、平生先生の建学の精神を継承していきたいと願い、このコラム欄を「鳩杖」とネーミング。1952年に甲南高校をご卒業された中井久夫先生に当時の様子を書き下ろしていただいています。

鳩杖



甲南大の西部校舎の背にはヘルマン山／今は高級住宅地／されどそもヘルマンとは何者ぞや／今は昔ドイツはヴィルヘルム二世の御代／ジューメンス社極東総支配人／一山全部を屋敷にして／西宮から戻る自動車の前を探照灯で照らした／それも道理／帝国海軍ご用達／戦艦「金剛」は当時世界最大最速の二万七千トン／一九二二年完成／最後の英国製／おそらく大儲けしたが／ついに起こった「ジーマンス事件」／一九二四年英国が暴露／某中將以下収賄で縄つき／海軍の父山本権兵衛首相辞職／日本海海戦勝利のおごりか／ヘルマンは風を食らって故国に逃走／第二次大戦始まって／英国は「金剛」級四隻購入申込み／断った日本は「ワシントン条約」で新艦建造中止／旧艦改造／「金剛」は艦尾伸ばして速力増大／機動部隊高速空母の随伴艦／ハワイ・セイロン・ミッドウェー／火の海にしたガダルカナルの米飛行場／レイテ沖では米空母にもつとも迫る／「長門」「大和」を尻目の大活躍／だがその帰途敢えなく米潜水艦に台湾沖に沈む／これより先に無人の屋敷も焼失／戦争直後に探検した／残るは高い暖炉の煙突とぞつとする深井戸／これじゃ消火は無理／以前の松山に戻るかとみえたが／海軍の汚点の記憶去つて平和な町になった。



▲ヘルマン山(1947年頃)



中井久夫先生

神戸大学名誉教授・医学博士。昭和9年奈良県生まれ。甲南中学・甲南高校を経て昭和34年京都大学医学部卒。精神医学者として治療と研究に従事する。平成9年4月から文学部人間科学科教授。平成16年3月に甲南大学を退職。4月より「兵庫県こころのケアセンター」所長に就任。「精神医学の経験」全8巻他著・訳訳書は多岐にわたる。



KONAN

インターネットで甲南へ
<http://www.konan-u.ac.jp>

スピーチされるシモネ副首相



6月15日(水)9時30分に、ベルギー王国シモネ・フランクス語圏共同体政府副首相兼大学教育・科学研究・国際関係担当大臣ら6名が、本学を表敬訪問されました。

シモネ副首相は、愛知万国博覧会視察のため来日中の、ベルギー王国フィリップ皇太子殿下とともに訪日されており、日本の大学とベルギーの大学間の協力関係を推進するため、このたびの甲南大学への訪問となりました。

歓迎式は杉村芳美学長から、来訪に対する歓迎のことばとともに、ブリュッセル自由大学との共同研究によるプロジェクトが21世紀の宇宙物理学研究に大きく貢献し、両大学の学術協力のいっそうの発展を期待するスピーチがあり、シモネ副首相からは、日本の大学とベルギーのフランス語圏の大学間の協力関係を確かめるとともに、ブリュッセル自由大学天文学・宇宙物理学研究所と、甲南大学理工学部との共同研究への敬意と賞賛を表明するスピーチがありました。



▲記念品交換

引き続き、本学理工学部宇都宮弘章教授から、本プロジェクトの概要説明があり、その後、和やかに歓談が行われました。

甲南大学は、2004年1月に、ブリュッセル自由大学と包括協定を調印し、5年計画で、「光核宇宙物理のためのデータベースの構築」をテーマに共同研究を行っています。

ベルギー王国フランス語圏共同体政府 シモネ副首相が甲南大学を表敬訪問

学習院大学対甲南大学 運動競技総合定期戦 50周年記念式典・祝賀会

学習院大学と甲南大学が運動競技定期戦を持ったのは、昭和27年の準硬式野球部が最初であり、その後、両大学生の間から単独の定期戦にとどまらず、多岐にわたる総合的な定期戦を持つという気運が高まり、学生スポーツの向上を図り、兼ねて両大学の親睦を高めることを目的として、昭和31年に第1回運動競技総合定期戦が学習院大学において開会式が行われました(11競技が行われ、学習院大学が優勝)。以後、両大学が交互に当番校となっており、定期戦を運営し、競技団体も増え、平成17年度現在24競技32種目の競技を実施、これまでの対戦成績は、通算、甲南大学の46勝2敗1分けとなっています。

今年度は、「学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦」が50周年にあたり両大学共同で、9月5日(月)午後1時から甲南大学甲友会館にて記念式典を開催、午後4時から新神戸オリエンタルホテルにて祝賀会を、学習院大学から、田島義博院長、永田良昭学長、遠藤久夫学生部長をはじめ、約70名、甲南大学から、池上吉蔵理事長、杉村芳美学長、青木浩治学生部長をはじめ、約150名の出席で開催しました。

なお、この定期戦のように総合的かつ多岐の運動競技で、しかも東西に遠く離れた大学間で長期にわたって行われてきた例は他になく、平成7年1月の阪神・淡路大震災で甲南大学が甚大な被害を受け、開催が途切れそうになった際にも、学習院大学が2年連続で当番校を引き受け、継続することができました。



CONTENTS

WHAT'S NEW KONAN

- ベルギー王国フランス語圏共同体政府シモネ副首相が甲南大学を表敬訪問
- 学習院大学対甲南大学運動競技総合定期戦50周年記念式典・祝賀会
- 2005年度教育懇談会開催
- オール甲南の集い



KONAN VISION ●あなたの目で確かめる、甲南の実力

甲南大学はより深く 地域社会と連携できるか。

研究室訪問

社会言語学的方言研究

模範的な日本語もかつて 若者ことばから生まれた!?

意志と団結力で進む、学生プロジェクト
発進! MY PROJECT

廃棄パソコンで地域貢献!!



キャンパスの過去と未来が出会う場所 ◆クロニクル甲差点
あなたの思う甲南生のイメージは?

創立より、いまへ受け継ぐスピリッツ

クラブつながりレーション

●クルージング部 ●探検部

Pick up 高・中Topics

海外提携校クラブ交流

ブラスアンサンブル部が
ハワイで音楽交歓会

トゥレーヌ甲南学園だより

フランスの家庭を味わう、
貴重なホームステイ体験

第一線で活躍中の卒業生にアクセス! ◆IT'S KONAN STYLE

誰かを想う本気のエールが、
自分自身の勇気になる。

甲南フォーラム

表紙の絵



西井 義晃 画「13号館」

西井 義晃さんプロフィール

1961年 甲南大学経済学部卒業
元自由美術会員

●西井 義晃展 2005年11月21日(月)~26日(土)
午前11時~午後7時(土曜のみ午後6時30分まで)
東京銀座 文藝春秋画廊
東京都中央区銀座5-5-12
TEL.03-3571-5494

次のURLで作品集をご覧ください
<http://webgarou.net>

懇談会に参加されたご父母の声



大西さんご夫妻 (法学部1年次)

先生方のお話を伺い「甲南は心配りのある大学だなあ」と実感。法科大学院、会計大学院についても説明を受け、息子の将来について意識するいいきっかけになりました。

息子の将来を意識する
いいきっかけに



中右さんご夫妻 (理工学部3年次)

娘が3年次を迎え、就職についてそろそろ考えなければならない時期なので今日はその相談に。女子学生への就職サポート体制がしっかりしているのがわかり、安心しました。

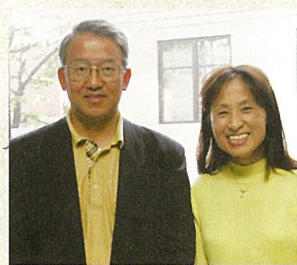
しっかりした就職支援に
安心しました



在田さんご夫妻 (理工学部4年次)

地方から進学させたので、毎年、この懇談会で神戸に来るのが、親子で話し合いいい機会になっています。来春卒業なので、院への進学も含めて将来のことを相談しました。

親子間の意思疎通の
いい機会になっています



瀬尾さんご夫妻 (経済学部1年次)

学生に対してさまざまな支援体制が用意されているのがすばらしい。それを受けて、娘には意欲的に学んでほしいです。これから、留学についての相談に行こうと思っています。

支援体制を利用して
意欲的に学んでほしい



田坂さんご夫妻 (経営学部4年次)

キャリアセンター所長のユニークかつ力のあるお話に感じ入りました。来るたびに思うことですが、この活力が甲南大学の魅力。甲南Todayも毎回楽しみにしています。

キャリアセンター所長の
お話に感じ入りました



板永さんご夫妻 (理工学部2年次)

理工学部では、個々の学生のニーズに応じた専門性の高い教育が受けられるのがいいですね。カリキュラムの説明を受け、甲南に進ませてよかった、と改めて思いました。

甲南でよかった、と
改めて思いました



▲ 就職相談にも多くの父母が足を運ばれました

「ご父母の中には、熱心にメモをとる姿も見られ、会計大学院への関心の高さが伺えました。このほかにも、学修問題や就職、学生生活、留学について、担当の教職員による個別相談会が実施され、ご父

母の質問にお答えしました。

当日、学内では、応援団、空手道部、JAZZ研究会、茶華道料理部道心会などが日頃の活動の成果を披露。また、法科大学院などの大学施設見学会なども実施。参加されたご父母はプロگرامを片手にキャンパスのあちこちを廻っては、学生の活動や施設を見学しておられ、終了後には「甲南のことをよく知ることができた」と多くの方々から「好評をいただきました」。

5月14日(土)、本学において、2005年度甲南大学教育懇談会が開催されました。教育懇談会は「父母のみなさんに本学の教育理念や学生のキャンパスライフへの認識を深めていただくことを目的として毎年、行われているもので、今年も全国各地より多数のご参加がありました。最初に杉村芳美学長がご挨拶として建学の精神に基づいた現在の取り組みについて説明。「各人の天賦の特性を伸張させ、独創力を発揮できる人間をつくる」「世界に通用する紳士たれ」と創立者平生飢三郎は学園建学の教育理念を掲げました。それを現代に生かすための具体的な取り組みとして、甲南大学では「語学教育の充実」、またそれに連動した「留学への積極的な支援」、そして、「社会貢献活動」を積極的に推進しています」と述べました。さらに、「各学部においても「特徴的な教育プラン」を実現すべく、時代を反映し、かつ学生一人ひとりの個性を伸ば

す教育を行っています」として、5学部およびEBA総合コースそれぞれの具体的な取り組みを紹介しました。また、2004年開設の法科大学院、そして2006年4月の開設を目指す会計大学院についても言及。「専門職大学院として、新しい時代の要請に応える優秀な法曹や職業会計人を育てたい」と、これから広がっていく新たな可能性とそれを担う学園の決意を示しました。次に池上吉蔵理事長が学園経営について説明。「少子化時代を迎え、多くの私学が経営困難に苦しみ近年ですが、幸い、本学では確固たる財政基盤の構築を進めることができています。しかし、それが目的ではありません。質の高い教育を提供することこそ、真の目的であると考えています。今後も教育投資に努め、魅力ある教育機関として、ご父母、そして社会の期待に応えていきたい」と語りました。

2005年度
教育懇談会開催

学修・就職・進学・留学など
父母のあらゆる疑問に回答



続いて、キャリアセンター所長・伊豫田隆俊教授が昨年度の同センターの成果報告と今後の目標について報告。「就職希望者の就職率は当初の目標の95%を上回る96.2%という数字を達成。また、その質も高く、希望に合った就職ができる方向にあります。キャリアセンターでは、各種の就職支援業務を1・2年次生から、4年間というタイムスパンの中で行い、さらに優れたプログラムを用意することで、進化を続けます。就職力ナンバーワンと世間でいわれる甲南の名に恥じない実績を今後も出し続けていく所存です」と力強く語りました。

学生が自分たちでプロジェクトを企画・運営する「甲南21クリエイティブ・プラン」の表彰式が行われたあとは、各学部が別会場で懇談会を実施。とくに経営学部では会計高等教育研究所所長・加藤恭彦教授から来年度に設立予定の会計大学院についての詳しい説明がありました。

▼ 応援団や歌舞伎文楽研究会、JAZZ研究会などが舞台上披露 ▼



▲ 茶華道料理部道心会のお点前にホッとひと息

オール甲南夢舞台

学生の普段の活動が間近で見られると好評。OBや中高生も参加して大熱演!

どの演技も見ごたえがありましたが、特に最後のビッグバンドの演奏には感動しました!

中村 尚さん(理工学部'87年)
中村千帆さん(文学部'88年)
光太くん(2歳)

▶ 甲南ブラスアンサンブル



▲ 語らいの広場



▲ 会計大学院説明会
(伊藤田隆俊経営学部教授・
会計高等教育研究所兼任研究員)

と題し、グリークラブやマンドリンギタークラブ、チアリーダー部などが活動成果を披露。懐かしい教授や仲間と再会できる「クラブ・ゼミOB会」では、フロアのあちこちから「先生の顔を久々に見ることができて嬉しい」「みんな変わってない」などの声が聞こえました。在校生が校内を案内する「キャンパスツアー」では、懐かしい校舎の変わりようにびっくりしたり、懐かしい時代の写真を展示した「展示コーナー」では、自分の学生時代の写真を発見し、感動する姿も見受けられました。子供広場「キッズランド」や「お祭り広場」は、輪投げやバレーボールなど大にぎわい。参加者には子ども連れも多く、キャンパスに元気な声が溢れました。また、今年は2006年度から開設予定の「会計大学院(設置認可申請中)」について解説する「会計大学院説明会」と、10月にスタートする「教職教育センター」の説明も兼ねた「OB・OG教諭の集い」も実施されました。今年もたくさんの卒業生が、思い出がいっぱい詰まった懐かしいキャンパスへと里帰り。あなたも来年「ご家族・友だちと一緒に、訪れてみませんか?」

▶ 展示コーナー



▲ 憩いの広場



▲ ミニサッカー大会

キャンパスツアー

サイバーライブラリから甲友会館まで、現役学生が直接ご案内。



子供広場「キッズランド」

児童福祉研究会が子どもたちをゲームなどでサポート。

孫に母校を見せに。児童福祉研究会OBなので後輩の活躍に感激。

中山克己さん(経営学部'66年卒)
裕斗くん(8歳)



講演会 桂小米朝氏

おなじみの落語家・桂小米朝氏が、国際経済を語る講演会。経済の複雑に絡み合った糸を一刀両断、そこから真の国際人とは何かを語った。

小米朝さんのお話は、独自の視点で解りやすく語られ、どんどん引き込まれました。

秋山雅彦さん(経済学部'75年卒)



8月6日土曜日。夏真っ盛りのこの日、甲南生の大同窓会「オール甲南の集い」が行われました。朝9時半からのミニサッカー大会を皮切りに、キャンパスのあちこちで、さまざまなイベントを開催。なかでも「一番の注目は講演会でした。今年は桂小米朝氏が「国際人って何?」をテーマに講演され、オイルショックやバブル崩壊などの例を挙げ、その時日本人はどう対応したかという視点から国際人を言及。「日本の良いところを知り、英語でそれを伝えることができれば素晴らしい。また勇気を持つてそれらを行動できる人が、私の思う国際人です」と締めくくられました。また、もうひとつの注目イベントは甲南学園同窓会主催による講談師・旭堂南海氏が語る講談「甲南学園創立者 平生飢三郎伝」。甲南学園を創った平生飢三郎先生の人となり、教育理念を、旭堂南海氏が解りやすく演じられました。



OB・OG教諭の集い

現在、高校などで教職に就き教鞭を振るう卒業生が集まり、親睦を深めた。

クラブ・ゼミOB会

懐かしい恩師を囲んで、クラブやゼミの友人たちと学生時代に楽しくおしゃべり。近況報告や昔話に花が咲く、あっという間の数時間。

10年ぶりに先生と再会。年代が違うOBとも仲良くなれました!

服部和世さん(文学部'89年卒)



卒業生、学生、ご家族がキャンパスに集合し、懐かしい顔に再会

オール甲南の集い

甲南ファミリーが岡本キャンパスに集まり、懐かしい顔に出会いふれあい、交流を深める「オール甲南の集い」が今年も開催。にぎやかな当日の様子をお伝えします。



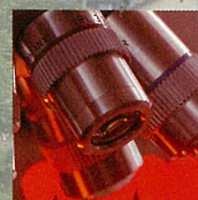
▲ 英語研究部 (ESS) OB会



▲ 高寄昇三ゼミOB・OG会

甲南大学はより深く 地域社会と 連携できるか。

昨年4月よりスタートした「甲南FRONT」は、地域社会と甲南を結びつける新たな取り組み。今年度より、その動きがいよいよ本格化しはじめました。しかし、この新たな機関はどんな背景から生まれたのでしょうか。また具体的にどんな活動を行い、地域からはどのように受け止められているのでしょうか。3つの視点から、「甲南FRONT」の実力に迫ります。



Konan University
Frontier
Research
Organization for
New
Themes



【大学と社会の関係は、
いまどのように変化している？】

社会の変化から考えると、現在は経済が低迷し、企業が従来通りの力を発揮できなくなり、また、このような状況下では、従来自社で行っていた人材育成や基礎研究も十分に行えなくなっています。そのため大学で即戦力となる力を身につけてきた人材を採用して補ったり、あるいは産学連携の共同プロジェクトで大学の知的資産を活用するなど、大学に期待する部分が大きくなっています。

また大学側の事情から考えると、少子化により誰もが大学に入れる全入時代が到来しようとしているいま、それぞれの大学は選ばれるために、自分たちの持つ価値を社会に対して明らかにしなければなりません。

こうした両面から見ても、これからは大学と社会がいま以上に結びつきを深め、共存・共栄を図る時期が来ていると言えるでしょう。

【これからの大学は社会に
どう関わるべきか？】

大学と社会が深く関わっていくために、まず必要なことは、大学がその知的資産を明らかにすることです。例えば、どのような研究者が在籍しており、どのような研究シーズがあるのかを提示することで、企業側からのアクセスを得やすくなります。もちろん従来も大学の教員は、自分の研究を学会という場で公にしていたのですが、それは非常に限定された場でした。一般の地域社会の目には触れません。またそれは教員の個人的な取り組みであって、大学という全体の動きではありませんでした。

甲南大学の場合、現在約240名の研究者が在籍していますが、これまで、その研究シーズを甲南大学として外部に公表する場がありませんでした。大学としてその全体像を把握し、オープンにする責任を私たちはつねに感じ続けてきたわけです。

【甲南FRONT(甲南大学
フロンティア研究推進機構)とは？】

こうした社会背景を受けて生まれたのが、甲南FRONT(甲南大学フロンティア研究推進機構)です。この機構はフロントという名前が示すように、いわば大学と地域社会との窓口。学内の研究シーズを細かく把握した上で、企業や公共機関などからのニーズに対してマッチングを図っていきます。例えば、既存の材料を生かして、何か新しい商品ができないかと問い合わせがあれば、理工学部の教員に依頼して工業的な見地から新用途を探ることもできますし、経営学部の教員に依頼し、マーケティング的な見地から用途を開拓することもできます。また法学部やロースクールの教員に依頼し、知的財産権についてのアドバイスを行うこともできるわけです。

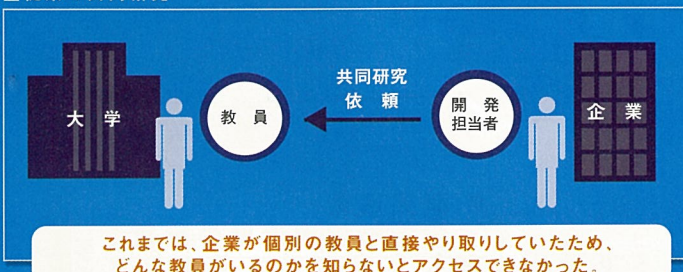
甲南FRONTは昨年4月に開設されて以来、機能を整備し、今年度からいよいよ積極的な動きを開始しました。すでにいくつかの特定プロジェクト研究所が企業と結びついて活動を始めており、地域からの期待もますます高まっています。私たちはこの機関を通じて、新しい大学の姿を探っていくと考えています。

背景
VISION

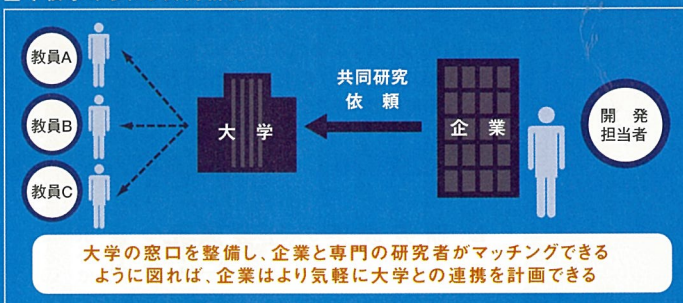
甲南FRONTは、
なぜ生まれたのか。
そのバックグラウンドを
西村教授にインタビュー。

甲南大学フロンティア研究推進機構長
経営学部教授
西村 順二

■従来の共同研究



■今後求められる共同研究



これまでの大学は、象牙の塔。
今後は地域に還元する視点が重要です。





甲南FRONT
提携企業に
インタビュー
尼崎信用金庫
経営相談コーナー主任研究員
樽谷昌彦さん
(昭和51年甲南大学理学部卒)

教授個人ではなく、大学と連携。
これまでなかったつながりの先には、
新しい可能性を感じますね。



甲南FRONTから
どんな未来が開けるのか。
地域社会からの期待を紐解く。

今回、甲南大学との産学連携に踏み切ったのは、その提案が「他大学とは明らかに違う」と感じた点が大いでした。私たちもともと地域に根差した金融機関として、地元大学と連携したアクションを模索していました。しかし他大学から持ち込まれる話というのは、理工学系のシーズを生かした技術開発がメイン。お客様の中には確かに技術的なシーズを必要とされる方もおられるのですが、お客様の相談ニーズは経営全般にわたる幅広い。当金庫としてもどのような連携を行うべきか模索していたところでした。ところが今回の甲南大学の業務提携案では、「甲南FRONT」を窓口として、甲南全体と連携できるシステム。これは画期的だと思いました。なぜなら、いま私たちがお客様に求められている提案は、主にマーケティング。いかにモノを売るかという経営学的なアドバイスが必要なのです。甲南全体と提携できるということは、まず経営学部・経済学部の教授から現実的なマーケティングの提案がいただける。またケースによっては、工学的な視点など別の領域のアドバイスもいただけるということ。このように幅広く、柔軟な連携が可能なら、きっとお客様の抱える課題に有効な手が打てるのではないかと今回の話がまとまりました。

現実的な計画としては、経営学部のゼミと結びついて商店街の市場調査を実施し、そのデータに基づいてお客様に新しい提案を行ったり、あるいは商店街の皆様へのサービスの環として、大学教授に講演を行っていただくなども考えています。甲南大学でこうした動きがますます進むのなら、これからはもっと面白い産学連携のあり方が生まれていくかも知れませんね。

通信情報研究所 (KITI)

研究テーマは、「IP時代の競争政策とユニバーサルアクセス」。セミナーやシンポジウムの開催も積極的に行いながら、IP化が進展する環境下でのビジネスモデルや公正競争ルールのあり方を研究しています。



所長
(経済学部 教授)
佐藤 治正

量子ナノテクノロジー研究所

平成17年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業に選定された「ナノ構造システムにおける量子相関の研究」。ナノ構造の複合体(システム)において量子相関によりもたらされる新たな量子効果を探索しています。



所長
(理工学部 教授)
安藤 弘明

知的情報通信研究所 (IICT)

平成16年度文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業に選定された「知的情報ネットワークによる地域密着型教育の高度情報化に関する研究」。国内外の大学、研究機関、地域社会や高校などとの連携のもとに研究を進めています。



所長
(理工学部 教授)
岩間 五一

環境総合研究所

「藍那里山公園」(神戸市中央区)における環境教育のモデルプログラム作成を国土交通省と共同研究するなど、4つの研究が進行中。ローカルからグローバルまで、幅広い視点から環境学分野の研究を実施しています。



所長
(文学部 教授)
谷口 文章

特定プロジェクト研究所の紹介

What is
your
VISION?

甲南大学はより深く地域社会と連携できるか。
あなたはどのように思いますか。

※同梱のアンケートハガキにより、広報部までご意見・ご感想をお寄せください。

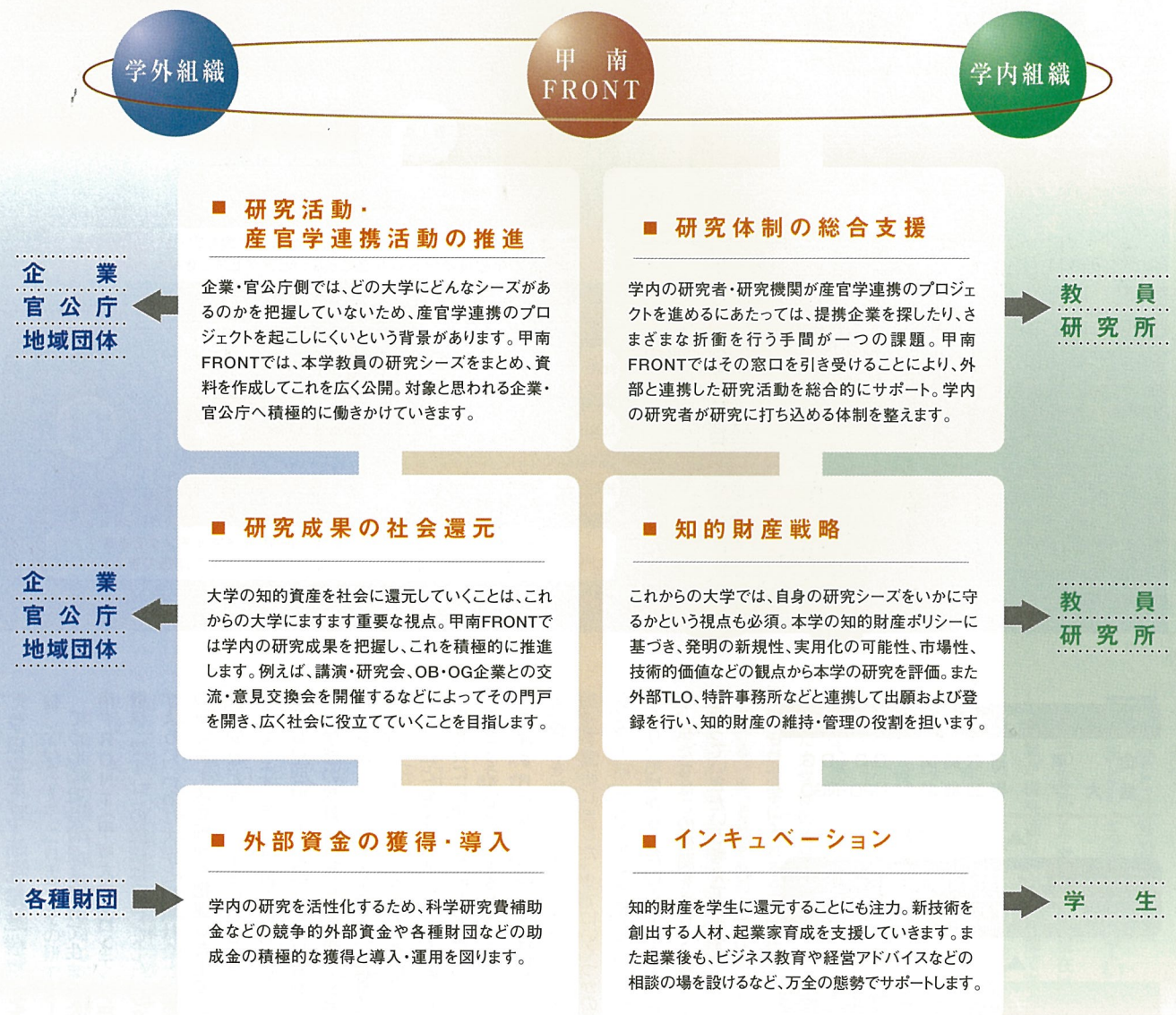


甲南FRONTは、
実際にどのような活動を行っているのか。



社会と大学を結ぶ、6つの活動

社会のニーズと大学のシーズを結びつける、甲南FRONT。その取り組みは具体的にどのように行われているのでしょうか。ここでは現在実践されている活動内容を明らかにしていきます。



先生、知の最前線を
教えてください！

研究室 研訪

今回のテーマ… 社会言語学的方言研究

模範的な日本語も かつて若者ことばから 生まれた!?



大阪大学大学院博士課程。専門は社会言語学・日本語方言学。学生たちとフィールドワークを実施し、得られた資料を分析、社会言語学的方言研究を行っている。著書は、『新・方言学を学ぶ人のために』（共著、世界思想社）、『兵庫県の方言』（共著、兵庫県教育委員会）、『甲南大学キャンパスことば辞典』（編著、私家版）『概説日本語学』（共著、明治書院）など多数。

文学部日本語日本文学科
都染 直也 教授

いま「日本語」ブームが一つの社会現象となっている。正しく、美しい日本語が改めて見直される背景には、おそらく、古き良き日本語がその姿を変えていくことに対する危機感があるのだろう。確かにテレビを見れば、これは明らか。「キモい」「ハズい」「ムズい」など、年配の人には馴染みのないいわゆる「若者ことば」がごく自然に飛び交い、日本語崩壊を予感させる。こうしたことばの乱れは、なぜ起こるのだろうか。またこれを防ぐ手段はないのだろうか。

ことばはいつも、 若者の観察眼から進化する

都染教授はこう語る。「ことばというのは、ずっと昔から変化し続けてきているのです。古い文献を探せば、江戸時代初期に、若者のことばの乱れを嘆いて書かれた本もあります（笑）。決していまの社会だけが特別ではないのです」。

しかし日本語の末期的症状にも思える現在の若者ことばさえ、その日本語の自然な変化の「一部」と言えるのだろうか。「そもそもことばの変化というのは、ほとんどの場合若者たちから起こるものです。なぜなら、若い世代はこれまでのことばに固執せず、気持や名称をいまの時代に合わせて表現しようとする柔軟さを持っている。彼らのことばには、“生命力”があるんです。例えば、『チャリンコ』。かつて誰もが『ジテンシヤ』と呼んでいた乗り物を、若者たちはあ

るとき、もっと気軽な呼び方に置き換えてしま

いました。すると面白いことに、『自転車』という呼び方はどうもそぐわない』と思っていた多くの人が、これを支持したのです。いまでは『原チャリ』『ママチャリ』など派生して、すっかり私たちの社会に根付いてしまっていますよね。チャリンコは強い“生命力”を備えていたのです」。

また教授によれば、ことばが変化するもう一つのキーワードは、“合理性”。「例えば、『ら抜き』ことばを例にとってみましょう。もともと『〜られる』には、『受け身』『可能』『尊敬』の3つの意味があり、前後の状況を判断しなければ、その意味を特定できない難解なことばでした。それが、『くれる』という言い方が生まれたことにより、新たな『くれる』は『可能』を意味し、従来の『〜られる』は『受け身』『尊敬』を意味するということのように使い分けができるようになりました。いまも『ら抜き』ことばはおかしいという人がいますが、使うことばがより便利になるわけですから、この変化を止めることはおそらく不可能でしょう。このように、ことばの変化は、“合理性”に基づいているのです」。

本当に注意すべきは、 安易な外来語の輸入

いくつかのルールに基づいて、まるで水が高いところから低いところに流れるように、絶えずことばは変化していく。古き良き日本語を懐かしみ、現代の「若者ことば（新しい日本語）」を嘆く向きも当然のことではあるが、こうした変化は、ことばが毎日使われるものだからこそ。いわば、ことばの本質的な特徴なのだ。変化しないことばとは、生命を失った「死んだ言語」なのかも知れない。しかし、都染教授はそうしたことばの変化を認める一方で、もう一つの注意すべき現代のことばの特徴についても語ってくれた。

「注意すべきは、外国語を日本語に置き換えず、そのままの形で使うことです。若者こと

明日使える 知の玉手箱

「シカト」は流行り語ではなく、
花札から生まれた古いことば!?

若者ことばと誤解されている「シカト」。実は、花札の十月の絵柄「鹿の十（しかのとお）」の鹿が横を向いた絵柄であることから、「そっぽを向く、無視する」を表すことばとして古くから使われています。



若者中心に使われる、「ウザい」。
東京ではおじいちゃんも使う!?

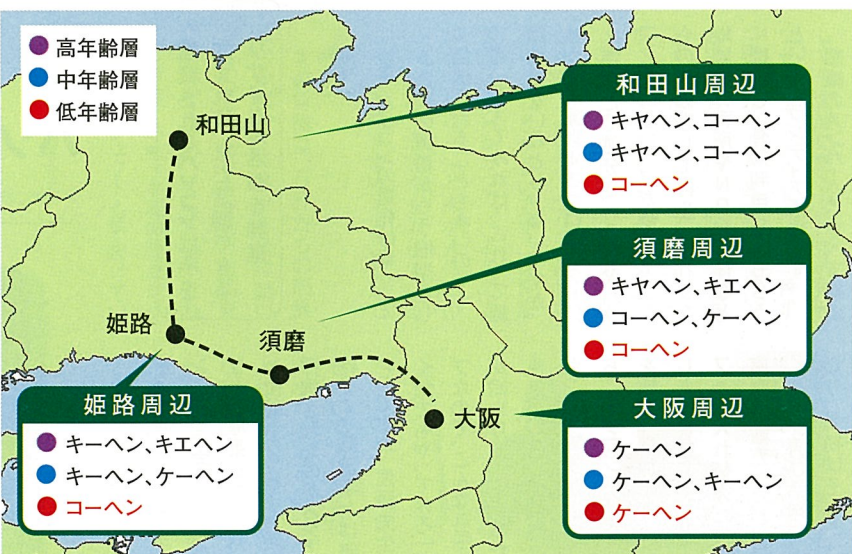
もともとは東京西部の多摩地区で使われていた「うっとしい」を表す「うざたい」が、東京23区内で使用されるようになり、「ウザい」となり全国へ。多摩地方では、おじいちゃん、おばあちゃんも「ウザッタイ」「ウザい」と言っている!?

全国共通で使われる「アオタン」は
実は北海道の出身!?

打撲による青アザを指すことば「アオタン」。標準語のように使われていますが、実はもともと北海道のごく一部の地域だけで使われていたことばが、千葉あたりへ渡り、やがて東京に伝わって、全国に広まって使われるようになったとか。

若者のことばの波及力は、地域の壁を超える!

地域別・年齢別に見る言葉の違い
調査項目:「来ない」



都染教授のゼミ生たちのグロットグラム（地理年代言語図）調査によれば、中・高年齢層では地域ごとに方言の違いがあるのに、低年齢層では広範囲の地域で同じことばが使用されていることがわかる。この例からも、若者の文化が地域ではなく、同年代層に依存しており、新しいことばが全国に広がっていきやすくなっていることがうかがえる。

若者ことばの氾濫による ことばの乱れは防げるか?

プロジェクト今後の計画表

9月	
全体予定	パソコン提供者に昨年度の活動報告
情報支援(NPO)	第一回パソコン講習会 ボランティアセンター紹介の施設を訪問
情報支援(公立施設)	2・3校の公立小学校を訪問 昨年提供施設のフォローアップ
情報支援(昨年提供施設)	使用頻度、用途を調査
パソコン再生	マウスなど入力機器調達 3年次パソコン組み立て講習

10月	
全体予定	新規パソコン提供を募る
情報支援(NPO)	第二回パソコン講習会
情報支援(公立施設)	児童館、学童保育の調査
情報支援(昨年提供施設)	(必要であれば)講習を開く
パソコン再生	2年次向けパソコン組み立て講習 パソコンの再生(ハード)

11月	
全体予定	17年度上半期活動報告作成
情報支援(NPO)	パソコンの提供が可能なNPOを探す Webページ作成(請負)案内を出す
パソコン再生	2年次向けパソコン組み立て講習 パソコンの再生(ソフト)

ジョイントPROJECT伝言板

あなたもこのプロジェクトに触れてみませんか?

「パソコン再生と情報ボランティア活動プロジェクト」では、地域とのより深い関わり合いを実現していくために、あなたの意見をお待ちしています。ご意見・アドバイスのある方、もしくはもっとよく知りたいと思われた方も、下記までお寄せください。

活動拠点:10号館202号室

連絡先:mail@tsi.jp 経済学部佐藤研究室

また、このプロジェクトの二つの特徴は、ただパソコンを直して提供するだけではないこと。提供先では初めてパソコンを手にするという人たちの多いので、希望があれば、初心者向けのパソコン講習会を開催するようにしています。内容は起動の仕方や文章・表の作成方法など、基本的なオペレーションについてですが、いざ教えるとなるとホントに難しいんです。例えば、同年代の友だち



提供先への講習会。初回は開かれても答えられないハackingなどもあったとか。

実は、提供先を探すのもひと苦労です。ただで提供しますよと言え、どこでももらってくださるのですが、具体的に使う

廃棄パソコンの再生は、単なるきつかけ。次の動きも探していきたい

次の目標は、自分たちの限界まで頑張って先輩から受け継いだこのプロジェクトをもっと活発にしていきたい。そして、それだけでなく、もっと別の視点からほかのプロジェクトも手掛けてい

きたいです。例えば、企業とのコラボレーションで、もっと地域の人に喜ばれる提案ができるかもしれない。正直、パソコンにこだわらなくてもいい。もっと地域の人の役に立てることができればと考えています。



先輩からレクチャーを受けてパソコンのハード・ソフトについての知識を修得。

本当に役立てて欲しいから、パソコンの利用法を教える講習会も企画・運営

ならこんなふうには言えればわかってくれるだろうということも、年配の方にわかりやすく伝えるには、どうすればいいのかわからない。パソコンの使い方をいくら知っていても、相手のことを知らない、教えられないのだと気がつきました。コミュニケーション能力をつけるのも今後の課題です。

れる計画がなければ、せっかく渡しても倉庫に眠るだけかも知れません。そのため私たちは一件ずつ提供先の方と直接お話しし、本当に有効活用されると思ったときに提供するようにしています。現在は、予算などの関係でパソコン環境が遅れている公立の保育所で、職員の方たちに使ってもらうことが多いです。保育所の前を通りがかって、「あのとき

が「甲南21クリエイティブ・プラン」という学内コンペに、プロジェクトの原案となる「パソコン再生と情報ボランティア活動」を応募、採択されたのがスタートのきっかけです。経済学とは直接関係ないのですが、佐藤先生が「とにかく何でもやってみろ」というタイプなので、こんなユニークな活動が始まりました。私たち3年次生は、パソコンの知識など全くなかったのですが、ゼミに入ってからこのプロジェクトを知って興味を持ち、参加するようになりました。部品を少し交換したり、ソフトを入れ替えたりするだけで、廃棄直前だったパソコンの半分以上が再び活用できるようになり、最初はそれだけでも興奮していました。

経済学部経済学科
3年次
有川 勝紀さん

経済学部経済学科
3年次
新田 展子さん



意志と団結力で進む、学生プロジェクト

発進! MY PROJECT

廃棄パソコンで地域貢献!!

【甲南21クリエイティブ・プラン】とは?

学生自身による学内外でのボランティア活動およびコミュニティ事業、ベンチャー企業などを大学が資金面などから援助する仕組み。学生の社会参加、地域社会への貢献活動を促すことを目的としています。

経済学部経済学科
3年次
津村 大さん

FILE 04

甲南21クリエイティブ・プラン採択
パソコン再生と情報ボランティア活動プロジェクト



2005年5月14日(土)の教育懇談会でされたプラン採択の表彰

廃棄されるパソコンは手を加えれば、まだ活躍できるリサイクル活動を発進

いま、パソコンの進化は早く、4〜5年前の機種がもう旧型として処分されることも多いのです。でも、考えてみれば、これって結構勿体ないことじゃないですか。私たちが運営するプロジェクトは、大学などで処分される廃棄パソコンを回収し、まだ使えるようなものは修理して再生。それらを地域の保育所やNPO団体などに提供し、有効利用してもらうというボランティア活動です。組織のメンバーは、すべて経済学部佐藤ゼミの有志。昨年、先輩

誌面作りに対する ご意見・ご感想

- 特集について。留学経験があるのでロス先生の最初の質問を読んで、「これは日本人が苦手な思考方法だな」と思い、気になって最後まで読んでしまいました。(’90年卒・女)
- ロス先生のように言葉の中にしっかりした考えをお持ちの方々の講義を聴講生として聴いてみたいと思いました。(ご父母)
- 研究室訪問が興味深かったです。私は甲南を卒業してから最初に就職したのが神戸のある同族会社だったのですが、そこでは同族会社の悪い面ばかり目につきました。しかし倉科教授の指摘を読んで、そういえば行動の早さなどよい面もあったと見直すことができました。(’60年卒・男)
- 倉科教授のいうファミリー企業の経営における考え方に「目からウロコが落ちる」思いをしました。(’75年卒・男)
- 生協食堂を取り上げられていた「こちら甲南特捜部」を読んで、息子が在学中どんな食生活を送っているのかわ知ることができました。(ご父母)
- 在学中毎日のお世話になった生協、パンセの記事を懐かしく読みました。いまはすっかりオシャレに変身したパンセ、一度訪ねてみたいです。(’73年卒・女)
- 大阪万博のときにできた民博は子どもの頃から好きで、中学から大学の間、よく通いました。その民博で先輩が教授をされていることを知り、何か誇りのような気がします。(’80年卒・男)
- 社会人講習会について、もっと詳しく教えてください。以前からかなりレベルが高いという評判を聞いていました。ぜひ講義風景なども紹介してください。(’86年卒・男)
- 学部によって学生の特徴などに違いはあるのでしょうか。そういったことを先生や職員の視点から教えて欲しいです。(ご父母)
- 摂津祭の様子を取り上げてください。甲南生の自由で活発な気質が最も現れる行事なので。(’01年卒・女)

キャンパスの過去と未来が出会う場所

クロニクル ④ 差点

あなたの思う甲南生のイメージは？

同じキャンパスで過ごした甲南生と言えども、年代が違えば考えることも大きく変わるのでしょうか。このコーナーはそんな世代を超えた甲友の意識の違い・共通点を皆さまのアンケートから明らかにしていく新企画ページです。第一回目の今回は、「甲南生のイメージ」についてキャンパス内で在学生200人に直接アンケート。また、その結果についてどう思うかを、卒業生にインタビューしてみました。

Best 3 **個性的 [29票]**
平生精神が息づく甲南には、いまでも個性派が多い！

「天才は一人ひとりの中にある」と個性尊重の教育方針を打ち出した学園創立者、平生先生の理念はなお健在。現役生の証言から、甲南にはいまでも個性派が多いことが判明！

卒業生にも聞いてみました
経営学部 ’71年卒 島村洋一さん
そういわれると、私の学生時代も、洋服にしろ意見にしろ、自分のスタイルを貫き通す学生が多かったのは確かですね。

Best 5 **協調性がある [7票]**
ネットワークづくりが上手いのも甲南生ならではのポイント

「大学を離れた場でも、うまく仲間をまとめていける人が多いと思う」など、ネットワークづくりが巧みという一面も。

卒業生にも聞いてみました
周りに合わせる協調性は抜群
ただその分ちょっと元気がない!?
経営学科 ’63年卒 木田 仁雄さん
いまの学生は、人に意見を合わせる協調性が強いのが感じます。でも元気がないのが残念!

Best 4 **負けず嫌い [9票]**
平均点では満足しない
これもある意味個性的かも!?

「仲間同士で集まって何か勝負をしようと、とことん盛り上がる」といった意見も多く聞かれました。

卒業生にも聞いてみました
喧々譁々というよりは
みんなで仲良く、わきあいあい!
経営学科 ’71年卒 島田哲夫さん
負けず嫌いと言っても喧々譁々ではなかったなあ。自分のやり方を持ちつつ、仲はよかった!



Best 1 **リッチ [88票]**
甲南生はお金持ち。
でも自分はビンボーという回答多数

意外にも(!?)、アンケートした現役学生が一番口にした回答は「リッチ」。実に1/3以上の学生が、甲南生は「リッチ」だと思っているようです。ところが、「じゃあ、あなたは?」と問いかけてみると不思議なことに、「いえ、自分はビンボーですけど」という回答が多数。甲南生にお金持ちが多いという噂、真相は一体どうなのでしょう?

卒業生にも聞いてみました
言われてみれば、学部によってはかなりリッチでしたね
文学部 ’75年卒 高橋 けい子さん
私の在籍した国文学部はみな羽振りがいいというより、かなり堅実でしたね。でも、学部によってはリッチな学生が集まっていたと聞きました。

応募方法

次回テーマ

キャンパスを沸かせた
「花形クラブ」と言えば?

本誌に「クロニクル」のコーナーがあるのは、みなさんの声のおかげです。ぜひ、みなさんの声を届けてください。

同じ甲南生・卒業生であっても、昔と今ではずいぶん考え方が変わった。また、またかなり年代が離れていても共通することがあったり。クロニクル甲差点は、そうした甲南生の年代を超えた理解を促していくベリです。どの年代の方も、いままでも思っていた甲南のイメージに、新しい発見があるかも知れません。ぜひ読むだけでなく、自分の意見を添えて、誌面づくりに参加してください。

クロニクル甲差点は来号より、
あなたの声でつくられます。

Best 6 **信念が強い [3票]**
一度決めたら後にはひかない。
ちょっと頑固な面も一つの特長

「何かを決めたら曲げない」
「友だちを裏切らない」など、硬派な甲南生の姿もちらほら見え隠れしました。

卒業生にも聞いてみました
学生がこう思っていることが
先輩としてとても嬉しい!
文学部 ’95年卒 古田 芳孝さん
卒業生に著名人が多いように、卒業後も頑張る人が多いのは、信念が強い証拠です!

Best 2 **オシャレ [68票]**
ハイカラな甲南ボーイ&ガールの
印象はなお強い!

「甲南生と言えど?」の問いに、迷わず「オシャレ」と答える学生多数。古くから甲南ボーイ&ガールと言われてきたハイカラな雰囲気は現役生にも色濃く受け継がれているのではないのでしょうか。

卒業生にも聞いてみました
当時もオシャレなイメージが。
でも入学してみると...
文学部 ’75年卒 柳 寛子さん
入学したら意外に普通で安心した記憶が(笑)。でも英文系学科やクラブは服や振る舞いも洗練されていてオシャレでした。



他の海外校にはない本校独自のプログラムのひとつに、長期にわたるホームステイの制度があります。本校生は、中等部の間に2年間、高等部では1年間のホームステイの権利を有しており、希望する生徒は学校に申請し、委員会の選考を経て、地域の家庭にお世話になります。

現在、本校では約30軒のホームステイファミリーをお願いしていますが、いずれもしっかりとしつけをしてくれる面見の良い家庭ばかりを選んでいます。ホームステイ先も色々と、地元の語学院などが斡旋する家庭の中には、対応が事務的であったり、金銭目的で生徒を引き受ける例もあり、中学生・高校生を預ける家庭としてはふさわしくない場合もあります。その点本校では、ホームステイ担当の職員が候補のご家庭を訪問して、雰囲気や部屋の様子、家族構成など家庭環境をチェックしたうえで、安心してお任せできる所だけを選んでいます。

当然お世話になる生徒の側にも申請時に選考試験を科し、フランス語による面接のほか普段の生活態度や学習状況などを総合的に判断して、ホームステイに出る許可を与えます。

全く見ず知らずの、しかも言葉もよくわからないフランス人家庭に突然飛び込むのですから、初めてステイをする生徒はかなり緊張するようです。中には、どうしてもうまく行かず、途中で戻ってくる生徒もありますが、ほとんどの生徒はステイ先の家族と実の親子のように親しくなり、卒業後もずっと連絡を取り合うほど強い結びつきが生まれます。これは生徒たちの頑張りもありますが、受け入れてくれる



このように食卓は家族にとって大切なコミュニケーションの場として、フランス人の生活の中では欠くことのできない重要な要素となっており、いわゆる「個食」などは考えられません。

また、休日の過ごし方も日本とは随分違います。基本的に商店が休みですから、ショッピングをすることはありません。ほとんど

ホームステイ先ではフランス語はもちろんのことですが、生活のあり方の中からさまざまな異文化体験を通して、生のフランスの姿に接することが出来ます。

生徒たちがまず気付くのが、家族の結びつきの強さです。日本とは労働環境の違いもあり、夕方6時にはほぼどの家庭も家族全員が帰宅しています。そして基本的に夕食は皆で揃って食べます。お母さんが準備した料理をお父さんが運び、子ども達はお皿やフォークを並べ、全員で食卓を整えます。食事の間はその日の出来事や次の休日の計画など賑やかなお喋りが続きます。しかし、テーブルに肘をついたり、片手を下におろしたままで食べたり、ベチャベチャ音を立てて食べたりといった無作法な食べ方は厳しく注意を受けます。

また例えばテーブルの上の水を取つても「水」と単語だけで言うと、これまたお叱りを受けます。「水を取つて」と言い直させられ取つてもらった後は「ありがたうお母さん」という台詞も忘れてはいけません。

家族の強い結びつきをはじめ、フランス独自の文化に触れる。

各ご家庭が本当に子どもたちのことを大切にしてくれ、気持ちを解きほぐしながら上手に接してくれるからです。



もうひとつ、多くの生徒がちょっとびくつく異文化体験をご紹介します。フランス人は騒音に対してひどく敏感で、レストランや公共の場などでは特に子どもや犬は静かにするよう厳しくつけられます。と、こまではいいのですが、夜中にトイレに起きた時に流す音が他人(家族も含めて)に迷惑だということで、夜中はトイレは流さないのが一般的です。生徒は毎朝祈るような気持ちでトイレに入る、という笑うに笑えない話を良く聞きます。どちらが良いとか悪いではなく、これが文化の違いと言つものなのではないでしょうか。

このように、日常の些細なことから学ぶ事柄は数知れず、ホームステイの期間を経て生徒たちはひとつもふた回りも大きくなります。日本の学校では味わえない、これも本校生の大切な体験のひとつです。



フランスの家庭を味わう、貴重なホームステイ体験

本校ならではのもうひとつの学び、
現地家庭でのホームステイ。



▲ワイキキの中心に位置する大型ショッピングセンターで演奏

多田陽介(以下、多田)ギタリストが予想以上に集まってくれていて、結構緊張しました。藤井嵩士(以下、藤井)向こうの生徒が僕らの演奏に合わせて歌ったり、雰囲気はすごく和やか。最初は心配したけど、お互いにすぐに打ち解けられたと思います。

海外で演奏してみても、何を感じましたか。

中山雄貴(以下、中山)お客

海外提携校クラブ交流 ブラスアンサンブル部が ハワイで音楽交歓会

2005年3月末からの8日間、甲南ブラスアンサンブル部の生徒たち27名がハワイのルジャルダン・アカデミー校(LJA)を訪問。今年で5回目となる音楽交歓会に参加、ルジャルダン校をはじめ多くの場所で演奏会を行いました。世界共通の言語である音楽を通じて、彼らはいったいどのような交流を深めたのでしょうか。現地を訪れた生徒たちに直接語ってもらいました。

音楽交歓というのは、具体的にどんなことをするのですか。

南栄人(以下、南)ショッピングセンターのステ

さんの反応が、日本と全然違っていて驚きました。乗ってくる人、踊り出す人も結構いて、向こうは音楽を楽しむことがごく自然な文化になっていることを肌で感じました。

多田アンコールの嵐が起ったときはうれしかったです。時間がなくて進行役の人はイライラしていたと思うけど、僕らも期待を裏切らず、何度でも演奏しました(笑)。

藤井僕は英語がまるでダメなんですけど、集まってきた子どもたちにマラカスを振ってあげたら、すごく喜んでマネしてくれて。言葉は通じなくても、音楽の楽しさは世界中で通じるんだってことを知りました。

帰ってきてから、自分が何か変わったと思うことはありますか。



甲南高・中モノ知り
生徒手帳

vol.1
日本海には、甲南生
行きつけの宿がある?!
甲南では毎年、中1臨海学舎を
実施。近年では、浜・磯・水質・
宿舎など諸条件が整った兵庫
県竹野海岸の奥城崎シーサイ
ドホテルに宿泊しています。

多田音楽を一生懸命やってきたおかげで、ハワイの人と語り合えた。クラブに入ったことを、改めてよかったと思いました。

南僕はもともととの出会いを大切にしたいと思うようになりました。向こうではたくさんの人に出会いましたが、そのつひとつがとても印象的で。演奏後感激して僕のところまで駆けつけてくれた人もいました。

ありがとうございました。



▲演奏後は生徒の周りに観客が集まり、交流が生まれる

第一線で活躍する卒業生に、ご自身の生き方についておうかがいするこのコーナー。
今回は、先日NFL「コルツ」のチアリーダーに合格された
檀上さんを直撃インタビュー。税理士として活躍される中、夢に挑んだ心境、
チアとの出会いなどを語っていただきました。

誰かを想う本気のエールが、 自分自身の勇気になる。

檀上 欣子さん

1999年経営学部卒業
2001年大学院社会科学部研究科修士課程修了



私 がチアリーダーに出合ったのは、甲南大学入学後すぐの新生勧誘の場です。そのときはちょうど、阪神淡路大震災の直後。街中の建物が崩れ、キャンパスはプレハブ校舎というひどい状況でしたから、先輩たちの威勢のいいかけ声や澁刺とした動きにすごく元気づけられて、気がつけば、「私もチアで誰かを元気にしたい。力づけたい」と考えていました。これがホントに運命的な出会いでした。

チアをやっていて、一番よかったと思うのは、二つのことにとことんのめり込めたことです。とくに忘れられないのは、「甲南の華」アメフト部が学生リーグ2部に転落したとき。私たちチアリーダーはアメフト部の専属なので思い入れが強く、「まさか」の結末を目の前にしたときは、自分たちが応援する立場であることも忘れて全員でフィールドに泣き崩れてし

PROFILE

1999年に甲南大学経営学部を卒業後、甲南大学大学院修士課程修了、関西大学大学院修士課程修了後、現在、松浦税理士公認会計士事務所で税理士として勤務。甲南大学在学中よりチアリーディング活動を行い、社会人Xリーグファイニーズ専属チアリーダー、東京USAオールスターチアリーダーズを経て、現在Xリーグヴィーナスウエストに所属。

まいました。ただ、次に集まったときには、みんな顔つきが違っていました。すっかり「チア魂」を刺激されたのか、「私たちにできるのは、応援しかない。アメフト部が一部に復帰できるよう、最高の応援をしよう」と誰かが言い出せば、みんな気持ちはず。まさに一丸になりました。本当は夏に開催されるコンテストに出場する予定もあったのですが、魅せる演技を磨くより、どうやればアメフトのみんなを元気づけられるのか。そればかり考えてみんなで毎日練習していました。アメフト部のみんなも、そんな私たちの想いをしっかり受け止めようと頑張ってくれて、甲南は翌年見事1部リーグに復帰。忘れられません。いまでも胸が熱くなるシーンです。こうした精一杯の体験の中で、いろんな人やことに出会えたり、大きく成長できたと思います。

また、忘れてはいけないのがゼミの教授、伊豫田先生。私は一方で税理士資格

檀上さんの 甲友録

中尾久美子さん
'89年 文学部卒業
税理士

荒牧英理子さん
'99年 経営学部卒業
株式会社fIs
勤務

三谷明輝子さん
'99年 経営学部卒業
椿本興業
株式会社 勤務

小田啓子さん
(旧姓 梶)
'99年 経営学部卒業

ました。

卒業して6年。税理士として働く一方で、いまもチアは私の一部です。社会人Xリーグでの活動はずっと続けていますし、今年の4月には、大学時代からずっと憧れだったNFLへもチャレンジ。ダメもなかったのですが、皆さんの応援のおかげで、アメリカン・カンファレンスのチーム「コルツ」のチアリーダー採用テストにパスする

ことができました。ホームページ投票では掲示されたファイナリストの中で、無名の私がトップ10に入れたのですから、どれだけ多くの方が知らないところで応援してくださったのか、感謝しております。おかげで今年1年はコルツの契約チアリーダーとして、世界を回ります。これから甲南を卒業され、社会に出て

いかれる皆さんへ。自分のやりたいことを、「どうせ自分には無理だ」とか、「いまからでは遅い」とか、簡単に諦めてしまわないで欲しいのです。私も卒業以来、NFLへの第一歩を「自分には無理だ」と考えて、なかなか踏みだせずにいたのですが、チアを通じて身につけてきた「つねに上を目指して立ち向かう気持ち」で自分を奮い起こして

挑戦したら、結果の方がついてきてくれました。身長がないと不利だと言われる中で、152センチの私がなんとかあったのだから、きっと皆さんの挑戦も頑張れば結果が出るはず。「チャレンジ」私からのエールです。



卒業生に負けない、自分の生き方見つけよう。

キャリアセンタースケジュール

1・2年次対象

10月～12月	ピカピカセミナー2005年 ●文章作成 ●履歴書・エントリーシート ●SPI模試 ●SPIフォロー
---------	--

2年次対象

10月	14日、20日、24日、25日、26日	適性テスト「VPI職業興味検査」
11月		スマイリーセミナー お仕事探検隊

3年次対象

■就職希望者は、全員、必ず出席してください。(申込不要・無料)		
9月	21日、22日、23日、26日、27日	第2回就職ガイダンス
10月	11～13日	企業分析講座
	17～21日	エントリーシート対策講座
	24～27日	面接マナー講座
11月	27日、28日、31日	学部別グループガイダンス
	1日、2日	
	7～11日	第3回就職ガイダンス
12月	中旬	SPI試験フォロー講座
	10日	OB・OG懇談会
	中旬	業界別就職活動報告会 公務員・教員合格報告会

11月28日～12月20日	企業研究セミナー
---------------	----------

■各種業界研究講座(申込不要・無料)

9月	28～30日	業界研究スタート講座
10月	3日	業界研究講座(商社)
	4日	業界研究講座(メーカー)
	5日	業界研究講座(金融)
	6日	業界研究講座(建設・不動産・住宅)
	7日	業界研究講座(マスコミ)

■事前申込が必要な講座(無料)

10月	5日、6日	女性がスマートに働くために(グループワーク)
	下旬	エントリーシートミニワーク
	22日、25日、27日	グループディスカッション対策

■事前申込が必要な講座(有料)

10月	6日、7日	SPI模擬試験(申込日:9/28～30)
	上旬(自宅受験)	エントリーシート対策模試(申込日:9/28～30)
	12日～	就職対策総合講座(全24日)
	28日、31日	センスアップ講座(女子学生向け)
11月	1日、2日、4日	
	18日～	面接試験対策講座(全28日)

4年次対象

11月	フォローアップセミナー in Nov
-----	--------------------





2005年度甲南21 クリエイティヴ・プランが採択

「甲南21クリエイティヴ・プラン」とは、すぐれた活動プランに資金と場所を提供し、学生の活力を引き出すプロジェクト。今年度は4つのプランが採択され、5月14日開催の教育懇談会において表彰式が行われた。

●甲南大学ブランディング&アイデンティティ形成“KONAN和輪羽プロジェクト”
(経営学部4年 葛上琢也さん他6名)

在学・卒業生の大学に対する誇り、愛着、帰属意識を高めることを目的にしたUI(ユニバーサル・アイデンティティ)。今後の甲南の更なる発展のため、学生自身が主体となつて、KONANブランディングとアイデンティティ形成実施のための運営体制づくりを行う。

●甲南大学発、生きたバイオテクノロジー体験学習の開発・提供
(大学院自然科学研究科1年 新開綾子さん他5名)

「理科離れ」が進む高校生に身近に理科を感じてもらおうと、2003年度からバイオテクノロジー教材を開発・配布。また、高校の先生のための実験研修会を開催するなど“生きた”理科教育実践のため、貢献している。

●環境啓発活動による環境意識の向上と循環型コミュニティの創造——ISO・環境ボ

河合隼雄氏を招き、 カウンセリングセンター・ 学生相談室講演会を開催

甲南大学カウンセリングセンター・学生相談室では、6月25日(土)、文化庁長官の河合隼雄氏を講師に招き、8号館813講義室において講演会を開催。「生と死の境界」をテーマとし、「私たちが生きていくなかで、境界がどんな意味をもっているか、また、今、境界をめぐって何が起きているのか」など、文化的、心理的な観点から意味深い講演が行われ、参加者約450名は先生の話に聞き入りました。



ビジネス・ イノベーション研究所 開設記念シンポジウム

7月9日(土)に甲友会館において、ビジネス・イノベーション研究所開設記念シンポジウムを「企業家精神の発揮—伝統的ファミリー企業を中心に—」をテーマに開催しました。

当日は産業界、政府、公共団体、研究機関などから180名を超える出席者があり、まず堺屋太氏による「阪神地域の活性化と伝統的企業の役割」をテーマとする基調講演が行われ、続いて、「伝統的企業と地域活性化・イノベーション」をテーマとして、4人のパネリス

ランティア・環境創造・国際ネットワーク化を通じて—
(文学部4年 谷本悠一郎さん他35名)

学内外の枠組みを越え、環境意識を向上させるため、ISO取得可能なキャンパスの創造、環境ボランティア活動、環境創造活動の推進、国際ネットワーク化の推進、という4つのプランを柱に活動する。

●パソコン再生によるインターネット・情報支援ボランティア活動
(経済学部4年 古川篤志さん他6名)

「学内で廃棄されるパソコンの回収・修理」、「修理したパソコンの保育所やNPO等への提供」、「提供先での情報支援活動」という3つの活動を通じて地域とのかかわり合いを持ち、地域コミュニティの活性化に役立てる。



第137回現代講座開催

自治会中央委員会現代講座実施委員会が主催する現代講座を、5月21日(土)、甲友会館にて開催しました。今回の講演は、俳優、そして気象予報士として活躍中の石原良純氏を講師に迎え、「これが私の生きる道」をテーマに行われました。講演では、20代の頃に石原プロの大先輩と、仕事後に朝まで飲み明かす毎日を通じたという話からはじまり、つねに怖い存在であった父親や



トにより阪神地域の現状と活性化の方策、およびビジネス・イノベーション研究所の役割と期待などについてのディスカッションが行われました。また、シンポジウム終了後の懇親会にも80名を超える参加者があり、こども参加者から有意義かつ有益な助言をいただきました。

■パネリスト：市村次夫氏／(株)小布施堂代表取締役、(株)樹市村酒造代表取締役、辰馬章夫氏／辰馬本家酒造(株)代表取締役社長、西宮商工会議所会頭、廣崎利洋氏／(株)アスクブランニングセンター代表取締役CEO、倉科敏氏／甲南大学経営学部教授、ビジネス・イノベーション研究所兼任研究員
■コーディネーター：川島護氏／(株)ティイーエヌ代表取締役、元株ダイヤメント社代表取締役会長

甲南大学・成蹊大学 サッカー定期戦・ 50回記念大会開催



7月18日(月)に、神戸総合運動公園ユニバー記念競技場において甲南大学・成蹊大学サッカー定期戦・50回記念大会を開催しました。記念セレモニーのあと、試合が始まり、



JR西日本役員らが 謝罪に訪問

5月27日(金)、西日本旅客鉄道(株)の赤星輝明執行役員ら4名が、本学に謝罪のため来学しました。赤星執行役員からは、「2名の学生が亡くなったこと、1名の学生が負傷されたことに対し、深くお詫び申し上げます。二度とこのような事故を起こさないよう、安全を最優先とし、企業風土の改革に取り組んでまいります」と謝罪。杉村学長は、「遺族・被害者に対し、誠意をもつて対応していただくこと、及び、事故原因を徹底究明し、安全対策に万全の配慮を行うとともに、通勤・通学的手段として多くの学生・教職員が利用しており、安全確保に努め、信頼を取り戻していただきたい」と改めて求めました。

結果は1対1の引き分け。試合終了後の祝賀会では、和やかな雰囲気の中、お互いが健闘を称え合いました。

課外活動での 優秀成績者を表彰

7月20日(水)、課外活動を通して、とくに優秀な成績を取めた3名の学生に対し、学長から表彰がありました。表彰理由は次の通りです。

●杉山佳美さん(経営学部4年)：体育会陸上競技部に所属し、女子400メートル走等で、各種学生選手権で優勝するなど、顕著な活動を行った。

●鈴木由希子さん(経営学部3年)：体育会陸上競技部に所属し、女子200メートル走において、各種学生選手権で入賞するなど、輝かしい成績を取めた。

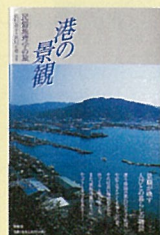
●岩元洋祐さん(文学部2年)：体育会ゴルフ部に所属し、関西アマチュアゴルフ選手権で優勝するなど、快挙をなし遂げた。

木股知史文学部教授が 第20回岩手日報文学賞で 啄木賞を受賞

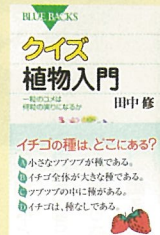
木股知史文学部教授が、岩手日報社主催の第20回岩手日報文学賞(啄木賞・賢治賞、随筆賞)において、「和歌文学大系77『握の砂』黄昏に／収獲」の中の「握の砂」で啄木賞を受賞しました。この受賞は、「和歌文学大系77」中の「握の砂」が、歌集「握の砂」の厳密な校訂や各短歌への精細な脚注・補注、総合的な評価を提示する解説をそれぞれ見事に構成し、近代短歌を代表する歌集たるゆえんを解説した研究であるとの高い評価が認められたものです。贈呈式・受賞記念講演会は、7月21日に岩手日報社で行われました。



南島へ南島から
鳥尾敏雄研究
高阪薫[文学部教授]
西尾宣明 編
和泉書院 ¥2,625(税込)



港の景観
民俗地理学の旅
出口晶子[文学部教授]
出口正登 著
昭和堂 ¥2,940(税込)



クイズ植物入門
一粒のコメは何粒の笑みになるか
田中修[理工学部教授] 著
講談社 ¥903(税込)



続 平生鎮三郎伝
昭和前史に見る武士道
小川守正[1942年
旧制甲南高等学校卒] 著
燃焼社 ¥1,260(税込)



時のしずく
中井久夫[1952年
甲南高等学校卒] 著
みすず書房 ¥2,730(税込)



イタリア、旅する心
大正教養世代がみた
都市と美術
末永航[1973年
甲南高等学校卒] 著
青弓社 ¥3,150(税込)



斎藤一人さんに教わった
「強運をよぶ本屋さん」の
成功法則実践ノート
池田光[1975年甲南高等学校卒、
1979年文学部卒] 著
イースト・プレス
¥1,049(税込)



僕たちの終末
機本伸司[1979年
理学部卒] 著
角川春樹事務所
¥1,785(税込)



クランク・クランク・
クランク
雄雲ほのか[1982年
文学部卒] 著
新風舎 ¥1,260(税込)



しなくなっただい
キスだからこそ
くすみとも[楠見朋子・1996年
文学部卒] 著
新風舎 ¥1,260(税込)



夜詩
水沢隆[2005年文学部卒] 著
島田成彬[文学部4年]
カバーデザイン
新風舎 ¥1,680(税込)

体育会ヨット部(女子)、 470級ジュニアワールド 選手権大会に出場

体育会ヨット部、小西絢子さん(文学部4年)と富田智子さん(文学部3年)は、5月、西宮ヨットハーバーで行われた日本代表選手選考会において代表権を獲得し、7月25日から8月2日までロシア共和国サンクトペテルブルク市で開催された「470級ジュニアワールド選手権大会」に出場しました。



甲南大学世界物理記念 イベント「アインシュタイン の100年」開催

8月20日(土)に、8号館813講義室において、甲南大学世界物理記念イベントを開催しました。理工学部佐藤文隆教授を講師に迎えての記念講演や、光の粒子性と波動性をテーマにした模擬実験を行いました。参加者数は、137名で、アインシュタインの知られざる顔についての話を聞き、また、彼の100年前の論文が量子コンピュータを始めとする21世紀の高度技術に貢献しているということに感銘した様子でした。おみやげに

■午前の部(3年生のご父母を対象として)
10時30分

「内定先企業にみる甲南大学と就職戦線
—今年度の就職状況と次年度の就職活動に向けて—」

■午後の部
(1・2年生のご父母を対象として)
14時

「個性が輝くキャリア選択のために
—一番身近にある究極のサポーター・キャリアセンター—」

学費(大学・大学院)の 特別猶予願いについて

家計の事情などにより期限内に学費の納入が困難な場合は、学費猶予制度を利用すること

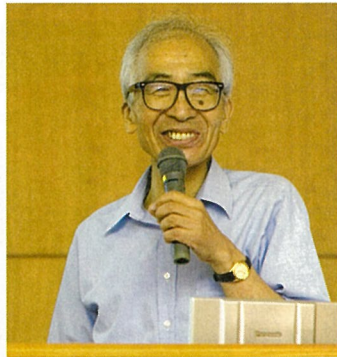
は「スペクトロスコープ」が手渡され、その場で工作して光の回折現象を楽しんでいる人も多数いました。

会計大学院設置を申請

6月28日、「会計大学院」の設置を文部科学省へ申請しました。

最近の米国やわが国での会計不正事件の発生を契機に、健全な会計マインドを備えた会計プロフェッション(公認会計士)の育成が国家的な課題(社会的ニーズ)として認識されています。甲南大学では、こうした社会的ニーズに応えるため、会計プロフェッションを育成する「会計大学院」の設置を構想し、その準備機関として、2004年10月「会計高等教育研究所」を設置。このたび、その準備が整い、文部科学省への設置申請が完了しました。開設は2006年4月を予定しています。本会計大学院の特徴は、下記のとおりです。

- ①会計大学院の目的は、職業倫理教育の徹底を柱として、国際性とIT能力に優れ、健全な会計マインドを備えた高度専門職業人、具体的には、「グローバル・アカウンタント」(公認会計士として監査法人で活躍する会計プロフェッション)と「ビジネス・アカウンタント」(企業内・非営利法人において監査・会計・ファイナンス・税務を担当する会計プロフェッション)の人材を育成することにある。
- ②専任教員は、14名であり、全員が学界や実



とができます。申し込みは、原則として保証人が申し出ることに
なっていますが、都合
の悪い場合は学生本人
でも構いません。
猶予を希望される方は
学生部厚生課で「学
費特別猶予願」の用
紙を交付してもらって
申請してください。
提出期限は、下記の
通りです。

	期間・期限	後期分
特 別 猶 予 願	願書提出期間	10月1日～31日
	猶予期限	翌年1月10日

注1/上記期限を超えての再猶予は認められません。
注2/上記の猶予期限内に学費を納入しない場合は、「除籍」になりますので、注意してください。

本誌をご覧の方へ 文学部卒業生がCDデビュー

藤本はるかさん(2004年文学部卒業)の



¥1,050(税込)

ファーストシングル「あなたへ」がインディーズで11月3日に発売される予定。バンドでもなく、弾き語りでもない。コンピュータで作ったバックトラックに合わせて歌う次世代のシンガーソングライターを目指します。「つひつひの音にこたわり抜いたサウンドに、情景が目には浮かぶ歌詞と心に残るメロディーを乗せて大切に歌いました」と藤本さんが語る自信作です。

今後の予定

- ③1学年の定員は、30名(教員1人当たり2.1人を予定しており、徹底した少数精鋭教育を実施する。
- ④入試方法は、「一般入試」、「AO入試」、「推薦入試」の3つであり、多様な人材を幅広く受け入れる。
- ⑤正規の教育課程以外に、課外講座として、入学前教育、エクスターニシップ、海外研修などを開設して、学習能力の向上、実務研究の体験、国際業務展開などを側面から支援する体制も整っている。

在学生のご父母の方々へ 教育懇談会

在校生の父母を対象に、本学の現状報告をはじめ、就学状況・就職・留学に関する質問、相談にお応えする教育懇談会を開催します。ぜひお越しください。

教育懇談会(中国・四国地区)

中国・四国地区に在住の父母を対象に開催します。

【日時】10月16日(日)11時

【場所】ホテルグランヴィア岡山(岡山市)

教育懇談会(名古屋地区)

名古屋近郊に在住の父母を対象に開催します。

【日時】11月20日(日)11時

【場所】名古屋グランドホテル

在学生のご父母の方々へ 父母就職説明会

【日程】11月26日(土)

【場所】甲南大学甲友会館

【講師】キャリアセンター所長
伊豫田隆俊(経営学部教授)

EVENT SCHEDULE

9月

- 平成17年度前期卒業証書・学位授与式(16日)
- 大学院修士課程(1次募集)入学試験、外国人留学生・修士(博士後期課程)入学試験(17日)

10月

- 後期授業開始(19日)
- 保護者対象オープンキャンパス(23日)「言語講座」(24日)12月3日

11月

- 秋期公開講座(1日)11月5日
- スポーツ能力に優れた者の推薦入学試験(2次選考)(1日)
- 帰国子女入学試験(社会人入学試験、編入学試験)(8日)
- 大学教育懇談会(岡山)(16日)
- EBA総合コース入学試験(A方式、法科大学院入学試験)1次募集(1次選考)(22日)
- みらい・インカレッジ(全国)斉模擬講義デー(6日)
- 経営学部高等学校商業科推薦入学試験、理工学部高等学校工業科推薦入学試験、EBA総合コース入学試験(A方式)1次選考(1次選考)(12日)
- 法科大学院入学試験1次募集(2次選考)(19日)
- 大学教育懇談会(名古屋)(20日)
- 第41回摂津祭(23日)
- 個別入試相談会(26日)
- EBA総合コース入学試験(B方式)2次選考(3日)

12月

- EBA総合コース入学試験

PRESENT

甲南ネーム入り、クロスの
ボールペン&シャープペン
セットを抽選で進呈



歴史ある筆記具の人気ブランド、クロスのボールペン&シャープペンシルセットを甲南のネーム入りで3名様にプレゼントします。ご希望の方は、同封のアンケートハガキにてお申し込みください。応募締切は10月末日到着分までとさせていただきます。

貴志康一幻の名作CD 当選者発表

「甲南Today No.21プレゼント」にご応募いただき、ありがたございました。厳正なる抽選の結果、当選された皆さまを発表します。

貴志康一
幻の名作
CD当選者

吉中祐子さん(80卒)
山崎英太郎さん(91卒)
堀部祥子さん(父母)

◆次号は2005年12月発行予定

甲南Today NO.22

発行日/2005年9月22日
発行/甲南学園広報部
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9-1
TEL (078) 431-4341(代)
印刷/大日本印刷株式会社